

静岡理工科大学「地域学講座」開講

- 袋井市と静岡理工科大学との包括連携協定による第5回「地域学講座」を開講。全4回。
- 今回のテーマは「私たちは〇〇して、ふくろいに観光客を呼び込む」。ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなど、多くの観光客が訪れる絶好の機会を、若者ならではの視点で、歴史資源や特産品などに新たな価値の付加・効果的な情報発信など、袋井市のために何ができるかを考え、政策として提案。
- 大学生29人とファシリテーターとして参加する20～30代の市職員6人に加え、今回から新たに高校生8人も参加。

1 事業名 第5回静岡理工科大学地域学講座

2 テーマ 「私たちは〇〇して、ふくろいに観光客を呼び込む」

3 目的

大学生 若者の視点で地域の課題解決または発展を図る具体的な施策を立案・発表。本講座を通じ、社会で活躍する人材となる基礎力を習得する。

袋井市 職員研修としてファシリテーション力を磨く。実効性の高い提案の事業化を検討する。

高校生 18歳から選挙権を得る高校生にとって、政治やまちへの関心を高めるきっかけとなる。大学のアクティブラーニング型授業を無料で体験。

4 日程

1日目 8月7日（火）市長講話・グループワーク

2日目 8月20日（月）フィールドワーク（茶ピア・可睡齋）・グループワーク

3日目 8月21日（火）グループワーク

最終日 8月22日（水）グループワーク・提案発表

